

英語 採点基準

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	1	客観	3×4	60
	2	客観	3×3	
	3	記述	13	
	4	記述	13	
	5	記述	13	
II	1	記述	8	60
	2	記述	10	
	3	客観	4×3	
	4	客観	2×4	
	5	記述	12	
	6	記述	10	
III	1	客観	3×5	44
	2	客観	4	
	3	客観	4	
	4	客観	4×2	
	5	記述	13	
IV		記述		36
合計			200	

大問 I

1 12点 (3点×4) 解答 (C) (H) (E) (B)

2 9点 (3点×3) 解答 (お) F (か) A (き) D

3. 内容説明 (13点)

〈設問指示〉 下線部(1)の“**a genetic parasite**”とはどのような働きをする生物を指すのかを、本文に即して 50 字以内の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉 自身の遺伝子コードを宿主の細胞に注入して乗っ取り、自分の目的に合うように変えてしまう生物。(45字)

【解答参考箇所】

injects its genetic code into its host's cells and hijacks them (その遺伝子コードを宿主の細胞に注入し、それら
を乗っ取り) // turning them to its own purposes (自身の目的に合うように宿主の細胞を変えてしまう)

●次の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 7点 injects its genetic code into its host's cells and hijacks them にあたる内容 ⇒『自身の遺伝子コードを宿主の細胞に注入して乗っ取り』	●injects its genetic code into its host's cells ●hijacks them の枠で採点 ※それぞれの欠如は、配点枠まるごとを減点。 ⇒injects / genetic / code / host's / cells / hijack の部分的欠如は、各(-1) ⇒代名詞の指す対象を具体化した結果、明らかに違う名詞を受けている場合は、各(-1)
② 6点 turning them to its own purposes にあたる内容 ⇒『自分の目的に合うように変えてしまう』	•turn A into B と混同したものは(-1) •them の明らかな対象誤認は(-1) •its の明らかな対象誤認は(-1) •own は訳出していなくても、its が反映されていれば可。
<ul style="list-style-type: none"> ・語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各(-1) 文構造レベルの誤訳は各(-2) ・解答の結び方は、明らかにおかしい場合は(-1) ・語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(-1) 	

4. 内容説明 (13点)

〈設問指示〉 下線部 (2) の証拠となる具体的事例として本文で述べられていることを 50 字以内の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉 アークを欠いたマウスは、チーズを見つけても、それがあつた場所を全く忘れてしまうこと。(45 字)

【解答参考箇所】

For example, a mouse that's born without Arc can't learn (例えば、アークを持たずに生まれたマウスは、学習することができない), If it finds some cheese, it will have completely forgotten where it was (そのマウスがチーズを見つけても、それがどこにあつたのか全く忘れてしまうようだ)

●次の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 4点 a mouse that's born without Arc にあたる内容 ⇒ 『アークを欠いたマウス』	<ul style="list-style-type: none"> •mouse はカタカナ表記許容。「動物」などと一般化したものも許容。 •Arc はカタカナ、英語いずれの表記も許容 •that's born without は「先天的欠如」のニュアンスが感じられれば、広く表現を認める。
② 9点 If it finds some cheese, it will have completely forgotten where it was にあたる内容 ⇒ 『チーズを見つけても、それがあつた場所を全く忘れてしまう』	<p>※ここを単に「学習[記憶]できない」としたものは具体性の欠如として減点</p> <ul style="list-style-type: none"> •finds / cheese / forgotten の欠如は、各(-1) •where it was の欠如は(-2) •completely の欠如は許容。 •it の指す対象の誤認は、各(-1) •will は「未来」「可能性」どちらの意味にとれるものも許容。
<ul style="list-style-type: none"> • 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2) • 解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (-1) • 語数指示の無視は 0 点。数字と記号のマス使用の指示無視は一カ所につき(-1) 	

5. 下線部和訳 (13点)

〈設問指示〉下線部(3)を, “that information” が何の情報なのかわかるようにして, 日本語に訳しなさい。

〈解答例〉 RNA の遺伝情報が, 新しい細胞に到着したときに何をするのかは / まだはっきりしない / が, そのプロセスが適切に機能しなければ / シナプスが弱まることを, / 研究者たちは発見した。

【下線部】

It's still unclear / what that information does when arriving in a new cell, / but the researchers found that / without the process functioning properly, / synapses wither away.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① <u>It's still unclear</u> ⇒まだはっきりしない	2点	・形式主語の構文だと分かっていなければ(-2)
② <u>what that information does when arriving in a new cell</u> ⇒RNA の遺伝情報が, 新しい細胞に到着したときに何をするのかは	4点	・that の具体化を無視, または誤認したものは(-3) ・what は「その情報がやる こと」のように関係代名詞のように訳しても可。 ・when arriving は「~する時」「~している時」「~した時」いずれに訳出していても許容。 ・a を「1つの」「ある」などと訳出していても許容。
③ <u>but the researchers found that</u> ⇒しかし研究者たちは発見した	1点	・the は訳出していなくても許容。 ・researchers の訳での「たち」の有無は不問。
④ <u>without the process functioning properly</u> ⇒そのプロセスが適切に機能しなければ	4点	・functioning を process にかけて訳したものは(-1) ・the の訳出の有無は不問。
⑤ <u>synapses wither away</u> ⇒シナプスが弱まることを	2点	・wither away は、away のニュアンスを反映した類推訳も許容
語句レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2)		

大問Ⅱ

3 12点 (4点×3) ア (B) イ (D) ウ (A)

4 8点 (2点×4) [え](C) [お](D) [か](B) [き](H)

1. 英語による語義説明 (8点)

〈設問指示〉 下線部(1)の“anterograde amnesia”について説明した以下の文の空所に本文に即して8語以内の適切な英語を補いなさい。

Anterograde amnesia is a condition in which _____ after a shocking event.

〈解答例〉 a person is unable to create new memories (8語)

【解答参考箇所】

After suffering a catastrophic blow to the head (頭部にひどい打撃を被った後)

Leonard is unable to create fresh memories (レナードは新たな記憶を形成することができないでいる)

【区分ごとの配点と基準】

項目・配点	具体事例
① 主語の人物が一般化できているか (1点)	<ul style="list-style-type: none"> ・Leonard, the man など特定の人物が主語になっているもの、a man など男女いずれかの特定の性に限定しているものは(-1) ・it is impossible to do の型を用いたものは、意味上の主語がなくても許容とし、①②併せて(8点)で採点する。 ・your memory does not work のようにまとめたものも、①②併せて(8点)で採点する。
② 「新たな[に]記憶を形成できない」が述べられているか (7点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「(過去も含めて)思い出せない」という意味のものは(-3) ⇒remember を使うとこの意味になりがちなので注意
<ul style="list-style-type: none"> ・①②を通して題意に全く合わないものは全配点を引く。 ・文法レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) 構文ミスは各 (-2) ・語数超過は0点。 	

2. 和訳 (10点)

〈解答例〉だから、彼の妻を殺した者を追い詰めるために、彼はメモとポラロイド写真からなる、代替記憶として機能する精巧なシステムを作成しなければならないのだ。

【下線部】

So / in order to track down his wife's killer, / he has to create an elaborate system / consisting of notes and Polaroid photographs that serves as a substitute memory.

区分	配点	具体事例
① <u>So</u> ⇒だから	1点	
② <u>in order to track down his wife's killer</u> ⇒彼の妻を殺した者を追い詰めるために	2点	•track down は「突き止める」「追い詰める」「追跡する」 いずれかの意味が認められれば可。
③ <u>he has to create an elaborate system</u> ⇒彼は精巧なシステムを作成しなければならない	2点	•create は「生み出す」も許容。
④ <u>consisting of notes and Polaroid photographs</u> ⇒メモとポラロイド写真からなる	2点	•note のカタカナ訳は許容。 •Polaroid の訳は、無視して訳さなかった場合を除き減点なし。 ※Polaroid photographs を VO として訳したものは (-1)
⑤ <u>that serves as a substitute memory</u> ⇒代替記憶として機能する	3点	•先行詞が system だと理解できていないことが明らか な場合(-2)
語句レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2)		

5. 内容説明 (12点)

〈設問指示〉 下線部(3)で “forgetting can be just as useful” と述べられている理論的根拠を本文に即して80字以内の日本語で述べなさい。

〈解答例〉 忘却は重要性が低い情報を減らし、私たちの思考をより明確にし、さらに、現状を重要でない過去の出来事に過剰に結びつけることを防ぎ、知的意思決定を増進する。

【解答参考箇所】

forgetting enhances intelligent decision making in two ways. It reduces less relevant information, making our thinking clearer ; and it prevents us from linking current situations too closely to past events that may not be relevant (忘却は 2つの点で 知的意思決定を増進 する。忘却は重要度の低い情報を減らし、私たちの思考をよりはっきりさせ、さらに、現在の状況を、重要ではないかもしれない過去の出来事へと過剰に密接に結びつけることを防いでくれる) という4つのポイントを述べればよい。

●次の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 3点 forgetting enhances intelligent decision making in two ways にあたる内容 ⇒ 『忘却は知的意思決定を増進する』	<ul style="list-style-type: none"> •enhances / intelligent / decision making それぞれの欠如は、各(-1) •②以降が in two ways の具体的内容だということが分からないものは、一括して(-2)
② 2点 It reduces less relevant information にあたる内容 ⇒ 『重要性が低い(関連性が弱い)情報を減らし』	<ul style="list-style-type: none"> •less は単に否定で表現しても許容
③ 2点 making our thinking clearer ⇒ 『私たちの思考をより明確にし』	<ul style="list-style-type: none"> •thinking が「思考」という名詞であると理解できていないものは(-1) •clearer は単に「明確に」と表現しても可。 •②への補足だと理解できていないものは(-2) ※「することで」「して」「するので」のように②と論理的につながるものを許容する
④ 5点 it prevents us from linking current situations too closely to past events that may not be relevant ⇒ 『現状を重要でない過去の出来事に過剰に結びつけることを防ぐ』	<ul style="list-style-type: none"> •it = forgetting だと分かっているものは(-1) •link A to B の型が読み取れていないものは(-2) •too を「あまりにも～なので...できない」の構文にとったものは(-2) •current, past, closely, not be relevant の訳もれは各(-1) •link のカタカナ訳は許容 / event のカタカナ訳は(-1)
<ul style="list-style-type: none"> • 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2) • 解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (-1) • 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(-1) 	

6. 内容説明 (10点)

〈設問指示〉 下線部(4)の “multimodal associations” の本文中での意味を本文に即して 35 字以内の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉 記憶する際に、記憶の対象を他のさまざまなものと結びつけて連想すること。(35 字)

【解答参考箇所】

Reed Johnson writes in an essay on Patient S. for The New Yorker: When Luria rang a small bell, for instance, the sound would **evoke in his subject's mind** “a small round object, something rough like a rope, the taste of salt water, something white, and so on.” In an unpublished notebook, Patient S. writes that “all the numbers had names, first and last, and nicknames, which changed depending on my age and mood.” The number one “is a slender man with ramrod posture and a long face ; two is a plump lady with a complicated hairdo atop her head, clad in a velvet or silk dress with a train that trails behind her.” // The word for “roach,” Johnson writes, “could also **mean, in his mind**, a dent in a metal pot, a crust of black bread, and the light cast by a lamp that fails to push back all the darkness in a room.”

●次の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 4点 「記憶の対象を」または「ものを覚える時に[ために]」	・個別の例に言及した場合、「など」「ように」のように一般化できていないと (-2)
② 6点 「他のさまざまなもの と 結びつけて[との連想で]覚える」	・個別の例に言及した場合、「など」「ように」のように一般化できていないと(-2) ※①で減点済の場合は、ここは指摘のみで減点なし ・「他のさまざまなもの[こと]と「結びつけ[連想]」を、それぞれ3点枠として採点 →他のものと関連付けるという内容が解答できていれば multi の要素の訳出有無は許容。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2) ・ 解答の結び方は、明らかにおかしい場合は (-1) ・ 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(-1) 	

大問Ⅲ

1 15点(3点×5) 解答 ア (H) イ (E) ウ (B) エ (J) オ (F)

2 4点 解答 (B)

3 4点 解答 (E)

4 8点(4点×2) 解答 (B) (E) (順不同)

5 (13点)

<設問指示> What do you think you can do in your daily life in order to reduce CO₂ emissions? Explain your own idea in around 30-40 English words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

(解答例) Reducing paper consumption is a good way to reduce CO₂ emissions because it will lead to reducing deforestation. I think it is a realistic approach because digital technologies can replace most of the paper-based information management systems. [37 words]

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① What への答え (6点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ I think や In my opinion などの「導入」なしで意見が述べられていても可。 ・ 対策を行う主語は we/you/I いずれも認める。 ・ 会話中の対策と同じものは不可としこの項目の全配点を引く。 ・ 「手の打ちようはない」と述べたものも同じく全配点を引く。 →但し②で「なぜなのか」を述べている場合は、②は得点対象とする。
② ①への説明 (7点)	☆①のみで語数要件を満たしている場合は、①を13点満点で採点 <ul style="list-style-type: none"> ・ I think や In my opinion などの「導入」なしで意見が述べられていても可。 ※①で会話中の対策と同じものを書いている場合 →理由も会話中と同じ場合は (-7) →理由はオリジナルの場合は得点対象とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ①②を通して題意に全く合わないものは全配点を引く。 ・ 文法レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) 構文ミスは各 (-2) ・ 同一語句のスペルミスと語法ミスは初出時のみ減点で、以降は指摘のみ。 ★末尾に語数を記入していないものは (-2)	

大問IV 自由作文 (36点)

〈問題部分〉 The two graphs given below show the trends in the newspaper industry in Japan over the last 25 years. Graph A shows the change in the average daily circulation of newspapers. And Graph B shows the change in the average number of daily newspaper subscriptions per household. In both graphs, a morning paper and an evening paper issued from the same company on the same day are counted as one. Examine the graphs and write what each reveals. Then explain one or more possible reasons for what you observe. Write approximately 80-100words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

※In this introduction, the word newspapers refers to paper-based ones.

〈解答例〉 The given graphs show two trends. First, according to Graph A, the daily circulation of newspapers declined year by year and showed a rapid fall over the last decade. Second, Graph B shows that the number of daily newspaper subscriptions per household decreased almost by half during the 25-year period. The cause of both trends may be that people have become more and more dependent on the Internet for information. This means that we no longer need to carry around a newspaper or clean up accumulated papers, which also must be inducing us to give up subscribing to newspapers. [99words]

★許容される主な分析は以下が挙げられる。

Table A

< 1 > 全体として減少傾向

< 2 > 2010年以降、減少が加速化

Table B

< 1 > 全体として減少傾向

< 2 > 25年間でほぼ半減

●次の①、②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① write what each reveals の提示 (14点) ※2つのグラフにつき、各(7点)	(A) 明らかにどちらかにしか言及していない：(-7) (B) 2つまとめて「どちらも減少傾向にある」とのみ述べたものは減点 (C) in Japan を無視し、明らかに世界の傾向として述べているものは、ここで一括して減点 (D) 表から導けない内容は各(-7)とするが、他に正しい分析が述べられ、それに対する補足として述べられているなら、減点対象とはしない。
② explain one or more possible reasons for what you observe の説明 (22点)	(A) 1つのグラフに対し、複数の理由が述べられていても許容。 (B) 2つのグラフへの理由がまとめて1つで述べられていても可。 ※但し、この場合は The cause of both trends のように「両方のグラフ共通の理由」であることを明示する必要がある (C) ①(C)に該当する減点はここでは減点しない。 (D) 学術的、社会的に検証されていないが、常識的にありうる理由は、内容面での減点はしない。
<ul style="list-style-type: none"> ・題意に全く合わないものは全配点を引く。 ・理由は「事実として断定」「類推」のどちらかで述べてもよい。 ・文法レベルの誤りとスペルミスは各(-1) 構文ミスは各(-2) ・同一語句のスペルや語法のミスは初出時のみ減点で、以降は指摘のみ。 <p>★末尾に語数を記入していないものは(-2)</p>	